


安全データシート

1. 物質または混合物および会社情報

製品名： Bond365™ Adhesive Part A
 製品コード： CH-C-22A
 推奨用途： 接着剤に使用するエラストマー材料。
 会社名： Comfort Hoof Care, Inc.
 住所： 420 Commerce Avenue; Baraboo, WI 53913; USA
 電話番号： 00+1-608-356-3834 FAX 番号： 00+1-608-356-6112
 緊急電話番号： は利用できません。
 発行日： 2019年02月19日 改訂版の日付： 2019年02月19日

この安全データシートは、日本の規格や規制に準拠しています。それは他の国々の要件を満たしていてもよい。

2. 危険有害性の要約

| | | |
|---------------------|---|---|
| <p>GHS-分類：</p> | <p>危険 急性毒性-吸入 (区分 4) 感作性-皮膚 (区分 1) 感作性-呼吸器 (区分 1) 単回暴露 (区分 3)</p> |  |
| <p>GHS-危険有害性情報：</p> | <p>吸入すると有害 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ 呼吸器への刺激のおそれ</p> | |
| <p>GHS-注意書き：</p> | <p>安全対策</p> <p>ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。 保護手袋着用すること。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 (換気が不十分な場合)呼吸用保護具を着用すること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。</p> <p>保管</p> | <p>応急措置</p> <p>気分が悪い時は医師に連絡すること/病院。 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 皮膚についた場合:多量の水と石鹸で洗うこと。 汚染された衣類を再使用す場合には洗濯をすること。</p> <p>廃棄</p> |

2. 危険有害性の要約

換気の良い場所で保管すること。 内容物/容器を有害廃棄物へに廃棄すること。
 容器を密閉しておくこと。
 施錠して保管すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性： なし。

GHS アセスメント： 未知の毒性成分から成る混合物のパーセンテージ： 0%。
 水生環境に対する未知の危険有害性成分から成る混合物のパーセンテージ： 0%。

3. 組成および成分情報

| 化学名 | CAS 番号 | 官報公示整理番号(化審法・安衛法) | 含有量 |
|-----------------|----------|-------------------|--------------|
| ウレタンポリマー | 営業秘密 | 含まれない | 95.0 - 99.9% |
| ヘキサメチレンジイソシアナート | 822-06-0 | (2)-2863 | 0.1 - 1.0% |

提供者の現在の知識の範囲および該当する濃度では、本製品の補足的な成分の中には健康または環境に対して有害危険性であると分類されるためこのセクションで報告が義務づけられている成分は含まれていません。
 職業性暴露限界がある場合、セクション 8 に記載されている。

4. 応急措置

- 目に入った場合： すぐに多量の水で (少なくとも 15 分間)、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合： 多量の石鹼と水で、汚染された皮膚を洗浄する。汚染された衣服および靴を脱がせる。症状が現れたら、医師の診断を受ける。汚染された衣類を再使用す場合には洗濯をすること。
- 飲み込んだ場合： 水で口を洗浄する。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。意識のない人には、絶対に、口から何も与えてはいけない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が現れたら、医師の診断を受ける。必要に応じて酸素または人工呼吸。
- 最も重要な徴候及び症状： 組織の炎症、発疹、呼吸困難。
- 医師に対する特別な注意事項： 症状に対応した対処療法を行うこと。

5. 火災時の措置

- 消火剤： 現地の状況と周囲環境に応じて適切な消火手段を使う。水噴霧、ドライケミカル、二酸化炭素または泡をお勧めします。二酸化炭素

5. 火災時の措置

- は、酸素を置換することができる。限られたスペースで二酸化炭素を適用するときは注意してください。
- 火災時の特有の危険有害性： この製品は引火性ではありません。火災時に発生する危険・有害分解物質。火災時の煙には、元の物質に加えて、毒性や刺激性があるかもしれない様々な燃焼生成物が含まれていることがある。
- 消火を行う者の保護： 自給式呼吸装置と保護服を着用する。
- その他のアドバイス： 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。

6. 漏出時の措置

- 封じ込め及び浄化の方法・機材： せき止める。不活性の吸収材で吸収させる。大規模の漏洩: 可能なら、流出物を囲い込む。回収して、正確なラベルのついた容器に移す。適切な溶媒で洗い流しエリア。
- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置： 保護服を着用する。
- 環境に対する注意事項： 土壌、排水溝、下水道、水路や地下水への流入を防ぐ。第12項、環境影響情報を参照。

7. 取扱いおよび保管上の注意

- 取扱い： 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。作業領域は、眼洗浄ステーションと安全シャワーを装備する必要があります。一般的な取り扱い: 眼、皮膚、衣服との接触を避ける。取り扱った後は十分に手を洗うこと。ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。換気の良い場所で使用してください。
- 保管： 現地法に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で。(熱、直射日光、紫外線光源、熱い金属表面)を避ける。混合禁止物質(セクション10を参照)を避ける。25°C以下にこの材料を保管。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。
- その他のアドバイス： 元の容器に保管してください。メーカーの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止および保護措置

- 職業ばく露限界値： 職業性暴露限界値（既存の場合）。
- ウレタンポリマー： なし。
- ヘキサメチレンジイソシアナート： ACGIH TLV: 0.005 ppm TWA (時間加重平均送受信)。
日本 JSOH: 0.005 ppm TWA (時間加重平均送受信)。
NIOSH REL: 0.005 ppm TWA (時間加重平均送受信)。
NIOSH REL: 0.2 ppm ceiling (上限)。
- 設備対策： 行程囲壁、局所排気通風装置あるいはその他の技術的管理設備を使用し、作業者が暴露される空中浮揚汚染物質濃度をあらゆる推奨あるいは法定暴露限界以下に保つ。

8. ばく露防止および保護措置

- 呼吸器の保護具： リスク評価により必要性が示されたときは、承認された基準に合格した、身体に良く合った空気清浄機能付きまたは給気式の呼吸保護具を使用する。使用する呼吸保護具は、既知もしくは予測される暴露量、製品の危険有害性、選択される呼吸保護具の安全作動限度に基づいて選択しなければならない。
- 手の保護具： リスク評価によって必要とされる場合は、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。
- 目の保護具： 承認された眼の保護具を着用してください（サイドシールドまたはゴーグル付きの安全眼鏡）。使用条件によっては、フェイスシールドが必要になる場合があります。
- 皮膚及び身体の保護具： この物質に耐薬品性のある保護衣を着用する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的および化学的性質

- 物理的状態： 液体
- 色： 淡い黄色
- 臭い： ほぼ無臭、フェイント
- 臭いの閾値： 0.001 ppm (ヘキサメチレンジイソシアナート)
- pH： データなし。
- 融点/凝固点 (°C)： データなし。
- 初留点と沸点範囲 (°C)： データなし。
- 引火点 (°C)： 227.2°C
- 蒸発速度： データなし。
- 燃焼性(固体、ガス)： 製品は引火性ではない
- 引火または爆発範囲の上限/下限： データなし。
- 蒸気圧： 無視できる程度
- 蒸気密度： 空気より重い。
- 比重： 1.155 (23°C)
- 溶解度： 不溶性の
- n-オクタノール/水分配係数： データなし。
- 自然発火温度 (°C)： 約 460°C
- 分解温度 (°C)： データなし。
- 粘性率： データなし。
- 爆発性： 該当せず。分類されていない。
- 酸化的性質： 該当せず。分類されていない。
- VOC 揮発性 (g/l)： < 12 g/l

10. 安定性および反応性

| | |
|----------------|---|
| 反応性： | 製品の付加反応を受けることはありません。一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。 |
| 化学的安定性： | 生成物は、通常の貯蔵条件下で安定である。 |
| 危険有害反応性の可能性： | 通常の貯蔵および使用条件下で、有害な反応は起こらない。 |
| 避けるべき条件： | と連絡混触危険物質と過度の熱。 |
| 混触危険物質： | 強力な酸化剤、強酸、強塩基、アルコール、アミン、銅合金、湿気。 |
| 危険有害性のある分解生成物： | 炭素の酸化物、窒素酸化物、シアン化水素、イソシアネート、イソシアン酸、脂肪族化合物、有毒な副産物。 |

11. 有害性情報

与えられた情報は、成分のデータに基づいています。

| | |
|-------------------|--|
| 急性毒性： | <p>の吸入した場合、生成物は潜在的に有害である可能性がある。 (ウレタンポリマー) 50%致死量(LD50) - 経口(ラット) > 2500 mg/kg; 50%致死量(LD50) - 経皮(ラット) > 2000 mg/kg; 50%致死濃度(LC50) - 吸入(ラット) 0.39 - 0.543 mg/l (4hr) (証拠の重みに基づいて、修正された分類は正当化される)。 (ヘキサメチレンジイソシアネート) 50%致死量(LD50) - 経口(ラット) 746 mg/kg; 50%致死量(LD50) - 経皮(ラット) > 7000 mg/kg; 50%致死濃度(LC50) - 吸入(ラット) 124 mg/m³ (4 hr) (蒸気)</p> |
| 皮膚腐食性 / 刺激性： | <p>製品は、わずかな眼刺激を引き起こす可能性があります。 (ウレタンポリマー) 皮膚にわずかな刺激性(ウサギ)。 (ヘキサメチレンジイソシアネート) 皮膚への腐食性(ウサギ)。</p> |
| 眼に対する重大な損傷 / 刺激性： | <p>製品は、わずかな眼刺激を引き起こす可能性があります。 (ウレタンポリマー) 目にはわずかな刺激性(ウサギ)。 (ヘキサメチレンジイソシアネート) 目に腐食性(ウサギ)。</p> |
| 呼吸器感作性 / 皮膚感作性： | <p>製品は、皮膚感作を引き起こすことがあります。製品は呼吸器感作を引き起こすことがあります。 (ウレタンポリマー) 皮膚増感剤(マウス地元のリンパ節アッセイ、ギニアピッグ)。動物実験では呼吸器感作は観察されなかった。 (ヘキサメチレンジイソシアネート) 皮膚増感剤(ギニアピッグ)。呼吸器系への感作(ギニアピッグ)。</p> |
| 変異原性： | <p>生成物は、細胞突然変異を引き起こすことが予想されない。 (ウレタンポリマー) 変異原性ではない(エイムズテスト、染色体異常試験、哺乳動物細胞における点突然変異)。 (ヘキサメチレンジイソシアネート) 変異原性ではない(エイムズテスト、哺乳動物細胞遺伝子突然変異アッセイ、小核アッセイ)。</p> |
| 発がん性： | <p>生成物は、癌を引き起こすことが予想されない。 (ウレタンポリマー) データなし。 (ヘキサメチレンジイソシアネート) 2年間の吸入試験で、ラットに最大0.164 ppmの発がん性影響は検出されなかった。</p> |
| 生殖毒性： | <p>生成物は、生殖毒性を引き起こすことが予想されない。 (ウレタンポリマー) データなし。</p> |

11. 有害性情報

| | |
|-------------------|--|
| | (ヘキサメチレンジイソシアナート) 妊娠ラットを用いた吸入試験では、交配、受胎能、妊娠、子孫の生存率に有意な影響はありませんでした (0.3 ppm までの濃度)。 |
| 特定標的臓器毒性 - 単回ばく露： | (ウレタンポリマー) データなし。 (ヘキサメチレンジイソシアナート) データなし。 |
| 特定標的臓器毒性 - 反復ばく露： | (ウレタンポリマー) ラットを用いた 90 日間の吸入試験では、呼吸器系への刺激以外に重大な有害作用は観察されなかった。 (ヘキサメチレンジイソシアナート) ラットにおける 2 年間の吸入試験では、上皮変性が有意な影響と考えられていた (肺および鼻腔)。 |
| 吸引性呼吸器有害性： | 製品は誤嚥の危険性をもたらすことはありません。 |
| その他： | なし。 |

12. 環境影響情報

与えられた情報は、成分のデータに基づいています。

| | |
|----------|--|
| 生態毒性： | 生成物は、水生生物に対して有意に毒性であることが期待されていません。 (ウレタンポリマー) 50%致死濃度(LC50) (ゼブラフィッシュ) > 100 mg/l/96 hr; 50%効果濃度(EC50) (オオミジンコ) >100 mg/l/48 hr。 (ヘキサメチレンジイソシアナート) 50%致死濃度(LC50) (ゼブラフィッシュ) > 82.8 mg/l/96 hr; 50%効果濃度(EC50) (オオミジンコ) > 89.1 mg/l/48 hr; 50%効果濃度(EC50) (藻類) > 77.4 mg/l/72 hr。 |
| 土壤中の移動度： | (ウレタンポリマー) データなし。 (ヘキサメチレンジイソシアナート) 土壤に浸出または吸着することは想定されていません。 |
| 残留性と分解性： | (ウレタンポリマー) 易生分解性ではない (28 日間で 0-2%)。 (ヘキサメチレンジイソシアナート) 急速に加水分解すると予想される。 |
| 生物蓄積性： | (ウレタンポリマー) 低生体蓄積性 (BCF = 3.2)。 (ヘキサメチレンジイソシアナート) 生物蓄積性であることが予想されていません (LogKow < 4.5)。 |
| 他の有害影響： | なし。 |

13. 廃棄上の注意

| | |
|-------------|---|
| 環境に対する注意事項： | 川、池、湖、または下水道に流さない。地下層に浸透しないようにする。 |
| 残余廃棄物： | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(施行令第6条)に従って廃棄する。可能ならば、廃棄や焼却処理よりリサイクルする方が好ましい。 |
| 汚染容器・包装： | 空き容器を廃棄処理する場合は、内容物を完全に除去し、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(施行令第6条)に従って廃棄する。洗浄した容器包装は再生利用する。 |

14. 輸送上の注意

| | |
|-----------------|---------------------------|
| 国連品名： | Not regulated (規制されていません) |
| 国連番号： | なし。(None) |
| 輸送における危険有害性クラス： | なし。(None) |
| 容器等級： | なし。(None) |
| 海洋汚染物質： | なし。(None) |
| 輸送の特定の安全対策及び条件： | なし。(None) |

この情報は、この製品に関わる特定の法令や輸送上の条件を全てお知らせするものではありません。輸送の分類は、ボリュウムによって変わる場合があります、各国固有の規制によって影響を受ける可能性がある。適用される全ての法律、規制、規則に従ってください。

15. 適用法令

| | | | |
|---|------------------------------|----------|--------------|
| 米国インベントリー (TSCA) (有害物質規制法)： | すべてのコンポーネントはインベントリに記載されています。 | | |
| 日本インベントリー (ENCS) (既存及び新規化学物質)： | すべてのコンポーネントはインベントリに記載されています。 | | |
| 消防法： | 第四石油類 | | |
| 日本 - 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR)： | 表示成分 | CAS 番号 | 濃度 |
| | ヘキサメチレンジイソシアナート | 822-06-0 | (1)-391 < 1% |
| 毒物及び劇物取締法： | 表示成分 | CAS 番号 | 毒物/劇物 濃度 |
| | ヘキサメチレンジイソシアナート | 822-06-0 | 劇物 < 1% |
| 労働安全衛生法 - 名称等を通知すべき危険物及び有害物： | 表示成分 | CAS 番号 | 濃度 |
| | ヘキサメチレンジイソシアナート | 822-06-0 | < 1% |

16. その他の情報

| | | | |
|----------|--|----------|-------------|
| 発行日： | 2019年02月19日 | | |
| バージョン番号： | 1.0 | バージョン日付： | 2019年02月19日 |
| 変更履歴： | v1.0 初期バージョン。 | | |
| 定義および略語： | GHS: 化学品の分類および表示に関する世界調和システム CAS: ケミカル・アブストラクト・サービス ACGIH: 米国産業衛生専門家会議 OSHA: 米国労働安全衛生局 TLV: 暴露限界 TWA: 時間加重平均送受信 | | |

16. その他の情報

PEL: 許容暴露限界
 STEL: 短期暴露限界
 WEEL: 作業環境曝露限界濃度
 AIHA: 米国産業衛生協会
 NTP: べいこくこっかどくせいプログラム
 IARC: 国際がん研究機関
 LD50: 50%致死量
 LC50: 50%致死濃度
 EC50: 50%効果濃度
 BCF 生物濃縮係数
 BOD: 生物学的酸素要求量
 Koc: 有機炭素-水分配係数
 IATA: 国際航空協会

参照: United States National Library of Medicine's TOXNET (医学の米国国立図書館 TOXNET)
 Patty's Toxicology, 5th Edition
 European Commission's Institute for Health and Consumer Protection (健康と消費者保護のための EU インスティテュート)
 American Conference of Governmental Industrial Hygienists (米国産業衛生専門家会議)
 International Agency for Research on Cancer (国際がん研究機関)
 United States National Toxicology Program (べいこくこっかどくせいプログラム)
 United States Occupational Safety and Health Administration (米国労働安全衛生局)
 United States Department of Transportation (米国運輸省)
 Supplier Material Safety Data Sheets (サプライヤからの安全性データシート)

免責事項: 我々の知見において、ここに記載した情報は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその関連会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任を負うものではありません。製品の適合性については、ご使用者各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。

作成者: ChemOne Compliance, LLC